

野外炊事指導者用 資料

1 野外炊事の流れと動き

時間	内容	研修生（児童）	引率者（学校職員）
入所前 炊事前	事前指導		①安全指導（服装、行動） ②班や係の確認 ③スプーン、軍手の用意
9:30	全体会	・注意事項、係の動き、流れの理解	
9:45	係会	【ごはん係】 ①飯盒準備 ②道具の返却 【カレー係】 ①具材準備 ②道具の返却 【かまど係】 ①かまど設置	①各係に分かれて説明を聞く ②説明に基づいて係の準備を指導する ③係の準備完了を見届ける ・ごはん係・カレー係の道具返却の見届け
10:20	着火準備	①係会終了後、班毎にかまどの場所に集合 【かまど係】 ②3つの係の準備が完了したことを確認後、マッチを取りに行き着火	①自分の班員をかまどに集める ②担当班の3つの係の準備完了を確認
10:30	調理	【ごはん係】 ①棒を使い飯盒を載せる ②時々、棒で飯盒を下ろし、中を確認 ③炊けた飯盒を渡り板に運ぶ ④新聞紙で飯盒の外側を拭く 【カレー係】 ①鍋を載せる ②沸騰したら肉を入れかき混ぜる ③ジャガイモのかたさを確認 ④ルーを入れかき混ぜる 【かまど係】 ①火の管理 ②鍋、飯盒がおりたら、かまどの分解 ・鉄網をおろす ・レンガを火から離す ・燃えカスを集める	【ごはん係】 耐火手袋 ①飯盒の蓋を取る、蓋をする ②炊けた飯盒を逆ざにする 【カレー係】 ①鍋の位置を変える、おろして渡り板に運ぶ 【かまど係】 (雨天時のみ、地面に敷いたレンガの撤去)
11:20	配膳準備	①引率者と共に、渡り板をテーブル下に運ぶ	①研修生と共に、渡り板をテーブル下に運ぶ
11:30	食事		
12:10	片付け	①引率者の指示で片付ける 引率者の点検を受ける ②飯盒、鍋、排水口は所員の点検を受ける	①マニュアルを見て、片付けを指示する ・「かまど係は説明を受けたとおりに片付ける」 ②片付けを見届ける ③忘れ物がないかを含め施設の最終点検
12:40			

2 団体の引率者へのお願い

(1) 体験を重視し、自主性を育む

活動は、可能な限り研修生が行い、引率者が行うのは、安全に係る最低限の4点

（前ページ表内の青線枠内に赤字で記述した4つの内容）にさせていただくようお願いします。

また、担当の班に常駐するようにしてください。

(2) (1)を実現するために

研修生は、係ごとに説明を受けています。引率者は、研修生の行動を促す声掛けをお願いします。

例：「～係、次どうするの？」

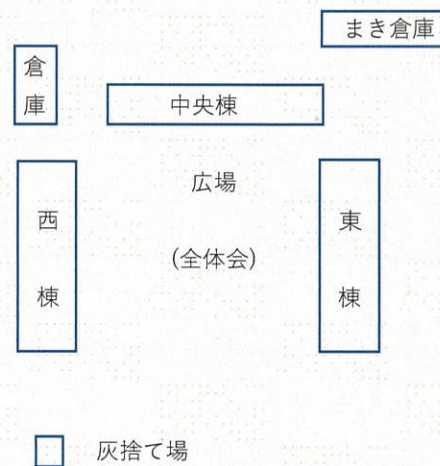
「そろそろ飯盒の中を見なくていい？」「こっちの火が弱いけど何とかならない？」

「沸騰したらどうするんだった？」「ご飯（カレー）、これくらいでOK？」

(3) 火おこし体験を実施する場合

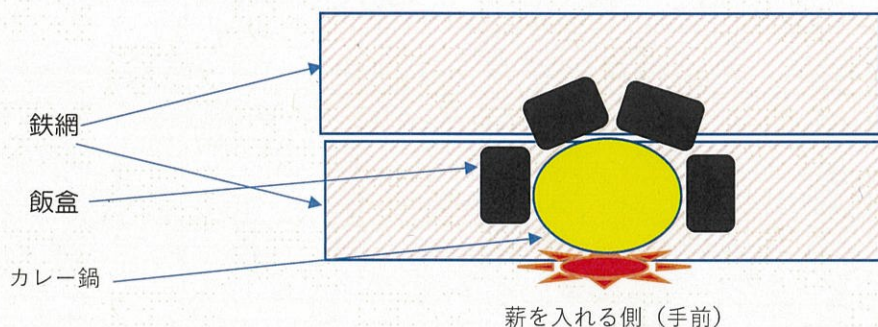
全体会后に火おこしの活動が30～60分程度かかるため、開始時刻が30～60分早まります。

3 配置図



※雨天実施可。その場合、全体会は東棟の中で行います。かまどは棟の軒下につくります。

4 カレー鍋、飯盒の載せ方の例



- ・「薪を入れる側」の手前の中央に「カレー鍋」を載せ、周りに飯盒を並べるとバランスがよい
- ・飯盒の下が火力が弱い場合、飯盒の場所を入れ替えたり、鍋を下した後に中央に寄せたりする